

ルンパキラ

伊
舎
堂

スナ
コイ
加ヲ
仁子

は泥
迂だ
害回
しボ

恋を
して
ロい
ボる

2015. 2+3

【目次】

連作

「舞浜駅でさよならを」・・・・・・・・泥ロボ

「働いてるので女子と喋れる」・・・・・・・・伊舎堂 仁

「くらしハウス」・・・・・・・・恋をしている

「付箋」・・・・・・・・迂回

「神秘的半獣主義」・・・・・・・・ナイス害

「オトダマレイン」・・・・・・・・スコラブ

「なるまで」・・・・・・・・はだし

「（めでたしめでたし）」・・・・・・・・加子

一周年企画 よくわかるなんたる星の歴史（1年分）

編集後記 なんたる星一周年に寄せて

入り口で貰いそこねた風船のせいで観覧車はありません

覚めるまで夢に居なくちゃいけないとケースにしまう往復きつぷ

「雨ふちててよかった」まるで僕たちの存在意義が雨かのように

人類としてのアドバンテージいま予約席から見下ろせること

カエル買うために~~30~~分かけてカエルのいない世界を戻る

支出8収入(僕たちが恋人だつて仮定して)3

地球には子どもがたくさんいるのだと知ったホテルに避妊具がない

僕たちがせつかく吐いた溜め息が受付嬢の肺でうごめく

上毛高原上毛高原じゃがりこを利き手で食べられないのが苦痛

僕たちの次の人にもプーさんは「またね」と言つてあげるのですよう

彼女しか友だちがいなかったので今たいいんなことになってる

初詣の列で暇だからあなたの髪を携帯電話ではさむ

おい モッズコート 夕暮れ 線路沿い フェンス 物憂げ 俺 だぞ撮れよ

仕事してなかったころは国道にMD置いて割ったりしてた

年収とほうれい線のあるあなたたちよどちらもないぼくたちは

兄のいる女友だち 姉のいる男友だち ずっと手強い

たぶんあおむけではなくてうつぶせで打たれてる本文から消すRe:

対向車側の窓から顔を出す犬とさつきの俺は大馬鹿

椎名林檎のギブスを聴いて泣いたあと椎名林檎のギブスを聴いた

JTB買春ツアー一行はそこをわくわく島と名付けた

次々と老人ホームが現れる 元カノの名で検索したら

スーパーで「いける?」「持とうか」「重いのか?」を女子が横からきく2秒前

好きだけと好きになったら来年は奈良に何度も行くことになる

くらしハウス 恋をしている

それが頭を覆ってわたしは嫌だった くらしハウス

女に産んでくれてありがとうって言いかけて鬼火のようなチョコレートここまで

春雨は降らないらしいほんとうにごめん色々なことに關して

カスタードプリンので合目をさわる私に歳をたずねる人だ

鈴木という姓は偉大だ アパートの鍵はベタな場所からさらに

遠雷の音か匂いかわからないドアノブが手を離れていった

「博多で試験」で止まった「EYE」見ていたら未来のホットコーヒー、いえーい

手をついて謝ってよなにこの表現もう一度言いたい手をついて謝ってよ

そのときはエレベーターの冷たさに寄りそうような海藻もやす

ホテルのほんの少しの開閉が許された窓、という名の公園

雪より 雪という名の友人は知らないたぶん降った手紙だ

付箋 迂回

しめ鯖をおいしくいただけそうな日か思案しているおれの内臓

ねえきつとどこかにあるよ 歯あ食いしばってもフリルが似合わない箇所

本日はペダルどろぼうマイセルフ遠投欲を有しています

ピーナツを粗めに砕く大好きな星の方角を覚えている

ここだけの意味ってやつが溢れくる煉瓦を濡らす愛され色素

ねえきつとどこかにあるよ ヲウオウオウおつてホールトマトが落ちてくる筒

鈍行で尻が熱くてこの駅は知らない駅で他人が降りる

夜を裂ききれないままにクラクションすこし空気が透明なんだ

つやつやの場所に付箋を貼るのって付箋を持って旅立ったひと

ねえきつとどこかにあるよものすこいうまみみたいにそびえゆくビル

序

猫と俺で劇団を作ってしまった鯖と夏を交換するため

第一幕「ひかり」

野良俺がパスタ茹でたり虫見たりするのを魅せる丸い劇場

もう踊れないわと卒塔婆に止まる鳥が可愛くてどけよ魔獣め

へい、北京ダックおまえもそんな顔するなよ笑え腹の底から

第二幕「影」

処女捧ぐ朝に髪の毛切りに行き泣いてる君は、つまり、クマリだ

ヤブユムを見ながら欠伸する君の小陰唇の色を知ってる

「大昔指輪で女を捌いてた」40°Cから50°Cに変わる瞬間

第三幕「ヘイワ」

グッドラックヘイワで踊る床の間で鳥獣戯画のカエルのやうに

誰か誰か胴上げしてくれ誰そ彼に歌い続ける事が幸せ

オトダマレイン スコラフ

音楽の怪物たちがいた場所にシロツメクサが咲いてる今年
いらだつて裏腹の雨、傘はある、おれにちようどの傘だけがない
感情は確かに急ぐ、いらせーのいちで泣いたらにで笑う歌
名を付けた渡り廊下の君だつて向こうの部屋に生活はある
季節など感じないけど夏だねと油まみれの海にたたずむ
棚の中増えたフィギニアを眺めてるおれはそれらの集合体か
ふわふわとされども胸をえぐる人ただしく赤いノードリードで
階段をぐりこぐりことのぼつては少しずつでも甘くはあつて
暗ければ上に歩くと聞こえてる渡された傘には星座柄
過去なんてどうでもよくてよくなくてこぼれたミルク忘れたら虹
雨音は誰の調べと言つたらうそれも君ならあたたかな日々

後ろから車の音が近づいてきて、それは横を抜けていった

飛行機たとおもって上を向く空に飛行機がある とても暗れてる

にやあと鳴くベンチの下にいるはずのものはいなくてラジカセひとつ

夕暮れはやく帰れの合図です 子どもはきけんです はやく帰れ

ぼろぼろのビニール傘は捨てましょう、新しいのを買いたいきます

靴ずれをシャワーで洗って拭くときのやさしい あれで抱くひとの子を

夜道つてあぶない 鎌を買いました これで安心してあるけます

洗濯機とまっていたので開いたら顔がまわっていたのしそう

後ろから車の音が近づいてきて、それはわたしをはじきとばした

マスクして隠してこわいから鎌をもってこどもはやく帰れよ

(めでたしめでたし)

加子

深海ミラーボール乱交パーティーのフロアの扉閉めたのも亀

蟻がキリギリスを解体して運びながら歌っている歌がある

三人は顔 三人は胸 のこる一人は姫の尻を見ていた

さきいかでできたおうちにしゃぶりつくおじさんから目をそらす妹

中くらいのつづらにはややこしい美女が入っていたのだけれど

処女なのでわかりませんというような態度にマッチがどンドン売れる

くちづけで目覚めるために必要なめでたしめでたしぶんのめでたし

(そんなことよりこの団子、クレープに混ぜて売ろうよ、はらじゆく、とかで)

よくわかる なんとる星の歴史 (1年分)

2014年4月



2014年3月



2014年2月



- 主宰・恋をしているの呼びかけにより、泥ロボ・はだし・スコラブ・ナイス害・迂回する案・真匿名の7名によりネット上においてのみ創作活動を行う「ネット短歌結社」としてなんとる星が発足、創刊号をネット上にて発刊する。
- 「なんとる星」は恋をしているの命名。メンバー全員の場合から投票により決定した。次点は泥ロボによる「けのび」。
- 泳二さんによる企画「短詩の風」(テーマ「星」)に全メンバーが詠草を提出。以降、ツイッター企画にも積極的に参加する。
- 文才がないまま星に囲まれてあ、あ、あ、あした産まれた(恋をしている)ぶわぶわの長財布から七枚の星を払って無人の汽車へ(泥ロボ)
- はだしが第3回怪談短歌コンテストにて道尾秀介賞・大賞を受賞。俗に言う(言わない)「はだし伝説」の幕開けである。ちなみに同コンテストでは後になんたる星メンバーとなる伊舎堂 仁も川野里子賞・大賞を受賞。
- ハンカチが等間隔に落ちていて、めくる目、耳、鼻、口「やめろ」(はだし) コンセントへ刺そうとしたら向こうからすでに刺されていたのでやめた(伊舎堂 仁)
- 4月号より迂回する案が現在の筆名である「迂回」へと改名。
特別なものはないのだ やわい身も殻もひとしくとろけたころ (迂回)
奥側で荷物まとめる女の背 表札にバツテンの爪あと (真匿名)
- 4月号刊行を前に、泥ロボが詠草を残して音信不通となる。4月号を宣伝しつつも実は星のメンバーめっちゃ焦った。
- 管理人ののさんによる、毎日歌会を行うサイト「うたの日」が発足。オープン初日のテーマ「日」で、迂回が首席を獲得する。
- エキセントリックな今日にしちゃおうぜバターを乗せたトースト傾け (迂回)

よくわかる なんとる星の歴史 (1年分)

2014年7月



表紙イラスト：風見2

2014年6月



表紙イラスト：イチゴだいふく

2014年5月



表紙：のの&スコラブ

• うたの日の7月7日のテーマ「星」で恋をしているが全首評を行う。スコラブも花束を獲得し、「なんとる星の日」となった。

• 木星と月が同時に見えていて次には電話帳を見ている(スコラブ)

• 田中ましろさんによる「うたならばプログパーツ」(テーマ「後」)にて、はだしが初採用にして表紙フォト短歌に選ばれる。

サヨナラホームランをよりドラマティックにしてる後ろで立ちつくす捕手(はだし)

• はだしの中で椅子がブームとなる。

• きのうちから最もいい角度のままの座椅子は明日もたぶんそのまま(はだし)

• 管理人ののさんによる「短杯2014」企画開催(テーマ「友」)。二十二チーム・百名超の参加者中、なんとる星はチーム成績二位、スコラブが個人詠四席の快挙。

• フランカの電撃なかなかとまらない きみんちの夜にすこし立ち入る(なんとる星)

• 悪いこと企むときのおれらには広さが足りぬカフェのテーブル(スコラブ)

• うたの日のテーマ「SEX」ではだしが首席を獲得、ツイッターで「セックスうま男」を名乗る。

足のうらにテーブルの脚あたって ころはれそう、ころはれそう麦茶が(はだし)

• 5月号より恋をしている・はだし・スコラブ・ナイス害・迂回の5名体制がスタート。

• 5月号は管理人ののさんの連歌投稿サイト「連歌の花道」とのコラボレーションにより製作された。なんとる星が外部からゲストを招く初めての試みであった。

• 蝉の声染み入る岩に立ってみただどこかで何かカチリと音が(迂回&のの)

• ナイス害の飼い猫「チャコ」がメンバー内で大人気に。

• sdwnわつ(電話越しのキスの音聞き駆け寄れば なんだボクじゃないのか チャコだぞ！)(ナイス害)

よくわかる なんとる星の歴史 (1年分)

2014年11月



表紙イラスト：千原こはぎ

2014年10月



表紙イラスト：南中堂

2014年9月



2014年8月



表紙：Gunico&スコラブ

・11月号はなぜか皆が打ち合わせもなく情感のこもったシリアスな歌ばかりを作ったため、皆首をかしげる。とりあえずこの出来事に「なんとる星のグランドクロス」という大仰な名前を付ける。

・タカフミの名前が検索窓にあり花火の音に合わせて消した(恋をしている)

・はだしと迂回、スコラブとナイス害がそれぞれ初めて顔を合わせる。ちなみにスコラブとナイス害が文学フリマにて出会った日の様子が、千原こはぎさん企画の冊子「てとてとたんか2」でフォト短歌になっている。

手のひらで星を受けたら貫いた なんとる穴をまじまじと見る (ナイス害)

・迂回・スコラブによるネットラジオ企画「なんとる歌会ラジオ」を行う(テーマ「チェーンソー」。「おれのチェーンソー」という言葉(下ネタ)が一瞬流行しかける。パソコンを飲み込んでゆくチェーンソー最古の記憶のような粉たち(迂回)その両手からっぽだけど殺されるチェーンソーにもなるあばら骨(スコラブ)

・9月号刊行。企画コーナーは短歌を大喜利で紐解くというものであったが、メンバー全員が存分にふざけ倒し、いろいろな意味で話題となった。

童貞が月夜のスターバックスで彼女に席を見つけてもらおう(恋をしている)

・泥ロボが一瞬だけツイッターに復帰する。

私にアッパーカットをねじりこむ者がひとりもない十字路(泥ロボ)

・8月号ではクニコさんによるフォト短歌サイト「つむぎびつ」の「泥ロボ企画」を行う。

本日の避難訓練終了です。きみたちはずっとそうしていなさい。(恋をしている)

・うたの日の8月2日のテーマ「パンツ」でスコラブが首席を獲得。かねてより念願であったパンツ王の称号を手にする。

昼間には言いにくかったことなので今パンツですが聞いてください(スコラブ)

よくわかる なんとる星の歴史 (1年分)

2015年2月



2015年1月



2014年12月



表紙イラスト：榎井七月

• 一周年となる15年2月より、新メンバーとして伊舎堂仁と加子を迎える。泥口ボも復帰し、2・3月合併号で8名の連作を発表する。
処女なのでわかりませんというような態度にマッチがどんどん売れる(加子)

• 1月号はゲスト歌人に中山俊一さんを迎えたコラボレーションにより製作される。風紀委員あなたの胸に抱かれて私は寶石商の声音だ(恋をしている)
• スコラブ、はだしの歌が相次いで「食器と食パンとペン」の安福望さんのイラストに採用される。
ポケットに入る夕暮れをくださいふとしたときに取り出せるよう(スコラブ)
寒風を防ぐポーズを編み出してそれが全然だめだった夜(はだし)

• ナイス害が「アイスピックの人」として話題となる(詳細は割愛)。
• 管理人ののさんとなんとる星による共同企画「星月歌合戦」を行う。なんとる星と参加者が競う6題に対し、なんとる星が5勝するという、主催側の利を大人げなく活かした結果で幕を閉じる。ちなみに真匿名がなぜか変名で一般参加者として参加し、あるお題で次席になっているが、何をやっているのだ。
いないいない、いないいないを貯金して公民館で使いきるばあ(迂回)
救急車の大きなドアを開けたとき新喜劇の音楽が聞こえた(ナイス害)
丁寧に折りたたまれて まあそれは馬のかぶりものだったので(はだし)
• 岡野大嗣さんの企画「紅白短歌合戦」が行われ、ナイス害の歌が「食器と食パンとペン」の安福望さんのイラスト付きで紹介される。
12位で「ラッキーカラーは白です」と言われてオレは死ぬんじゃないの(ナイス害)

【編集後記】

☆なんたる星 一周年に寄せて

蟹を見たかい。あのつるつるなやつをさ。あれがおれたちだったんだよ。星座なんかじゃなかった。それはそうと、昨日電車に乗ったとき、電線を見たら涙が出たんだ。おれたちどこへ行くのだろうか。ペットボトルのせいで、景色なんてペットボトル色なのに。まあ、それもまた、いいか。わりと真面目なことを言うと、皆様のおかげで一年やってこれました。ありがとう。

(スコラブ)

なんたる星というモノに属して自分の居場所が与えられたら、言葉がどんどん出てきました。それは、ナウシカに出てくるオーマが最初アウアウアーだったのに、「オーマ」という名前を与えてもらったら突然自我が目覚め饒舌になり、使命を全うしようとしたまさにあれなのです。

一周年経って気付きました。俺はオーマなんです。これからも頑張ります。プロトンビーム発射するので伏せてください。毒の光も撒くよ。

(ナイス毒)

一年、いられました。わお。

自由、とかふざけてて、でも「やりたい」をここまでダイレクトに反映されてもらえる場。ありえません。こんなの絶対、いろいろな方々のおかげとしか考えられない。だからそのすべてに、ありがとうございます、と言いたいです。

がんばります。よろしくお願いします。

(はだし)

恋をしているが「ネットで結社をつくりませんか？」と呼びかけてから一年が経った。その間、私は短歌をやめ、そして始めた。人々が31音だけで会話をするような革命的なことは起きていないが、ジュンク堂新潟店の「短歌」の棚はひとつ増設された。短歌は感情の吐露。吐き出さなければならないことはたくさんあり、受け止めなければならないことも、まだまだたくさん残っているはずだ。なんたる星がその濁流の一部になれば良い。

(泥口ボ)

「短歌ってなんでもありだと思ってた」と僕が言ったら、「そうだと思いますよ」って恋をしているが答えてくれた。メンバーが集まる場所でのやり取りがずっと印象に残ってます。場による縛りとか暗黙の定石とか、表現する上ではよくあることなんだけど、大前提はなんでもありじゃないかって今も思っていて、なんたる星がずっとそういう場であってくれたことが嬉しいです。きっとこれからもそうだから、僕はここにしようと思います。

(迂回)

結社の成員、ってどう呼ぶものなんだろう。たぶん会員、とかなんだろうけどなんたる星、の成員を僕は「構成員」、そう思ってる。だってそうじゃないか。絶対にここの人たちは僕・伊舎堂のした事を総演しにしてくる、暴力団のような脅威になる。なので一周年なんて祝わない。怖いから。毒杯を。献上。

(伊舎堂 仁)

なんたるかがやき、なんたる星。ぐるっと回って1周年おめでとうございます。私も回って回ってバターみたいな星座になりたい、と、いうことで、これからよろしく願いいたします。

(加子)

—光年の距離に光が満ちて星は麒麟の重さに気づき、ぼくらはひどく恋をしている—

なんたる星 2015年2月+3月号
発行日：2015年2月9日
編集発行人：恋をしている、スコラブ、迂回
表紙絵：スコラブ
Twitter：@nantaruhoshi
Mail：nantaruhoshi@excite.co.jp



※ 恋をしているは多忙及び体調不良のため、編集後記をお休みしています。